

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長

令和3年度技術情報について

令和3年度技術情報第3号を発表したので送付します。

令和3年度技術情報第3号

令和3年8月31日
徳島県

8月第6半旬の巡回調査において、イネいもち病（穂いもち）の発生が平年に比べて多くなっていることから、9月中旬以降に収穫するほ場では、被害の増加が懸念されます。現地においては、発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いいたします。

- 1 作物名：水稻
- 2 病害虫名：いもち病（穂いもち）
- 3 発生地域：県西部，9月中旬以降に収穫する圃場

4 発生状況

- (1) 8月第6半旬の県西部9圃場の巡回調査では、発生圃場率が33.3%、発病穂率が0.4%と、平年（10.7%、0.2%）に比べてやや高い。
- (2) 徳島地方気象台が設置した穴吹、池田の観測地点の本年8月1日から26日までの日照時間は、平年の約60%であり、8月12日から21日まではほぼ0時間で推移した。また、葉いもちの感染好適日（BLASTAM^注による）は、8月1日～26日に複数回出現したと推定されるため、発生が助長されたと考えられる（表1）。
- (3) 徳島地方気象台が8月26日に発表した1か月予報では、平均気温、降水量及び日照時間も平年並であるが、期間の前半は雲が広がりやすく、平年に比べて晴れの日が少ないと予想されており、本病の更なる被害が懸念される。

注)BLASTAM：アメダスデータ4要素（気温、降水量、風速、日照）から、その日が葉いもちの感染に好適であったかを推定するプログラムのことである。葉いもちの発病は、感染好適条件が出現した日から7～10日後に始まると考えられる。

5 防除対策及び農薬安全使用上の注意事項

- (1) 発生状況はほ場によって異なるので、圃場を見回り、穂首部分に感染し、白穂になった株などが見られる圃場では、早急に追加防除を行う（写真1）。
- (2) 防除の詳細については、県植物防疫指針を参照するとともに、農薬の使用に当たってはラベルをよく読み、登録の有無と収穫前使用日数や使用回数を遵守する（表2）。
- (3) 風の強い日には散布を控え、風向きに注意し、圃場周辺への薬剤飛散防止に努める。



写真1 穂いもちの病徴（左：白穂症状 右：穂首の症状）

表1 BLASTAMによる葉いもち感染好適日の判定結果（8月1日～8月26日）

アメダス拠点	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14
穴吹										○			○	
池田					○									●
アメダス拠点	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/25	8/26
穴吹			●					●						●
池田	●		●		●			●						

●:感染好適条件出現日

○:準感染好適条件出現日

表2 水稻のいもち病防除に本田で使用できる主な薬剤(令和3年8月30日現在)

薬剤名	使用濃度	使用方法	FRACコード	人畜毒性
フジワン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで/2回	6	普通物
ビームゾル	1,000倍	収穫7日前まで/3回	16	劇物
カスミン液剤	1,000倍	穂揃期まで/2回	24	普通物

○徳島県内の病害虫の発生予察情報，発生状況，防除法等をお知らせしています。

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所

所在地 〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井1660

電話 088-674-1954 ファクシミリ 088-674-3114

URL : <https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujosh/>